

2. 経費支出概要書（経費内訳）

茨木商工会議所

(1) 経営相談支援事業

(単位：円)

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	180	4,500,000	/	180	4,500,000	/	0	/
支援機関等へのつなぎ	30	300,000		30	300,000		0	
金融支援（紹介型）	15	450,000		15	450,000		0	
金融支援（経営指導型）	20	800,000		20	800,000		0	
マル経融資等の返済条件緩和支援	2	40,000		2	40,000		0	
資金繰り計画作成支援	2	40,000		2	40,000		0	
記帳支援	2	50,000		4	100,000		50,000	
労務支援	15	300,000		17	340,000		40,000	
人材育成計画作成支援	0	0		0	0		0	
マーケティング力向上支援	5	100,000		5	100,000		0	
販路開拓支援	15	300,000		15	300,000		0	
事業計画作成支援	27	1,350,000		30	1,500,000		150,000	
創業支援	30	600,000		40	800,000		200,000	
事業継続計画(BCP)作成支援	5	100,000		5	100,000		0	
コスト削減計画作成支援	2	40,000		2	40,000		0	
財務分析支援	2	20,000		2	20,000		0	
5S支援	0	0		0	0		0	
IT化支援	3	60,000		3	60,000		0	
債権保全計画作成支援	0	0		0	0		0	
事業承継支援	15	300,000		15	300,000		0	
災害時対応支援	0	0	0	0	0			
フォローアップ支援	40	200,000	40	200,000	0			
結果報告	170	1,700,000	170	1,700,000	0			
小 計	—	11,250,000	11,250,000	—	11,690,000	11,673,150	440,000	423,150

(2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談	4	96,000	/	4	96,000	/	0	/
税務相談	2	48,000		2	48,000		0	
記帳指導	2	52,000		2	52,000		0	
専門家派遣（同行）	2	48,000		2	48,000		0	
	0	0		0	0		0	
小 計	—	244,000	244,000	—	244,000	244,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	14,999,606	別紙事業調書【変更後】のとおり	14,576,456	/	▲ 423,150

(4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	/	別紙事業調書【変更後】のとおり	/	/	0

(5) 合計

申請合計	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
	/	26,493,606	/	26,493,606	/	0

事業名		バイオ産業推進事業		事業番号	4	新規/継続	継続
想定する実施期間		2015	年度～	年度まで	8	年目	←複数段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業概要	バイオ・ライフサイエンス関連企業等が情報発信することにより連携や交流を促進する。					
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	バイオ・ライフサイエンス関連企業は、特殊な業種のため一般企業や府民への認知度が低い傾向がある。バイオ・ライフサイエンス関連企業等が情報発信することにより、関連企業間やその他の中小企業、府民への認知度が向上し、連携やビジネスマッチングの促進につながる。					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	彩都ライフサイエンスパーク等のライフサイエンス拠点に立地する府内のバイオベンチャーや中小企業					
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	彩都ライフサイエンスパークに立地するバイオベンチャー企業や周辺のものづくり企業等へのヒアリングの中で、連携や交流のニーズがある。					
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>■2022年2月1日 彩都バイオサイエンスセミナー開催(予定) 講師：サラヤ株式会社 代表取締役 更家 悠介 氏 テーマ：バイオサイエンスの時代を語ろう サラヤの衛生・環境・健康へのチャレンジ! ※過去のバイオサイエンスセミナー参加者数(参考) 2020年度：25名、2019年度：56名、2018年度：44名</p> <p>■2020年10月14日～16日 BioJapan2020に出展 ※2021年度PR事業は新型コロナのため見送り 出展事業者数：12件 ブース来場者・名刺交換事業者数等：248名</p>					
	反省点	新型コロナウイルス感染症の影響でセミナーの集客に苦戦した。					
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	○ 人材育成型	事業の実施にあたっては、実行委員会(茨木商工会議所、摂津市商工会、大阪府、茨木市、バイオ・サイト・キャピタル㈱)を開催し、準備から当日の実行まで連携を図っていく。 彩都ヒルズクラブが過去に190回以上実施してきた「彩都バイオサイエンスセミナー」の2022年度に実施する1回分を主体的に実施する。					
	人材交流型	<p>■セミナーの開催 【内容】 地域中小企業等を対象としたバイオ・ライフサイエンス分野のマッチングに向けたプレゼン能力を向上させる内容、あるいは同分野への参入を促進する内容。講師はライフサイエンスに関連する企業経営者やコンサルタント等を予定。</p>					
	○ 販路開拓型	<p>■連携あるいは交流促進のためのイベント開催 【内容】 大企業や大学・研究機関、地域のバイオやライフサイエンス分野のベンチャー、従来型中小製造業やIT・サービス業等の連携を促進させるようなイベント、あるいはライフサイエンス拠点進出企業間の連携・地域住民への理解を目的としたイベントを企画して実施する。開催例として、「彩都における一般公開イベント等」の事業を予定。具体的な実施内容は、実行委員会で決定する。</p>					
	ハズオン型	<p>※上記の事業は、新型コロナの情勢によりオンライン開催に変更する場合あり。</p>					
	独自提案型	<p>※上記の事業は、新型コロナの情勢によりオンライン開催に変更する場合あり。</p>					
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	○ (a)府施策連携		○ (b)広域連携		○ (c)市町村連携		○ (d)相談事業相乗効果
	商-8	ライフサイエンス拠点進出企業と府内中小企業、地域住民との連携・交流促進				販路開拓	
		(a)府施策連携：ライフサイエンス産業課の担当者を交えて事業の進め方や事業当日の運営まで含めて連携。 (b)広域連携：支援企業の掘り起こしや集客を共同実施。 (d)相談事業相乗効果：相談案件が出た場合は、経営相談事業で個別対応する。					
主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	彩都ライフサイエンスパークの立地企業への重点PRに加え、ホームページ、SNS、メルマガ及びチラシラックへの配架、機関紙でのPR、関係機関への協力依頼をし参加企業を募集する。				
	40 社						
	支援対象企業の変化 (代表的な指標)	イベント参加企業が自社のPRをでき、新たな連携の動きを感じ取れたり、認知度向上の目的をはたすこと。					
	指標	事業実施後、自社の認知度向上を果たしたと回答した企業数	数値目標	10			
その他目標値	目標値の内容⇒						

算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービ単価		支援企業数		係数		標準事業費			
	20,200	円 ×	30	社 ×	1.00	=	606,000	円		
	50,500	円 ×	10	社 ×	1.00	=	505,000	円		
	50,500	円 ×	500	社 ×	0.01	=	252,500	円		
		円 ×		社 ×		=		円		
		合計	540	社	(小計)		1,363,500	円		
※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)								円		
								計	1,363,500	円
独自提案単価及び独自補正係数の根拠(基準どおりの場合不要)										
算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等						
	②受益者負担		円	負担金の積算						
	○ (a)府施策連携	○ (b)広域連携		(c)市町村連携	○ (d)相談事業相乗効果					
	標準事業費		補助率		(①市町村等+②受益者負担)					
	1,363,500	円 ×	1.00	=	1,363,500	円	(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)					
	○	茨木商工会議所	1,104,450 円		実施に係る経費は500,000円を茨木商工会議所が負担し、以下の割合で配分					
		摂津市商工会	259,050 円		【茨木商工会議所】70%					
			円		セミナー参加者21社、出展企業7社相当、来場者350名(604,450円)					
			円		【摂津市商工会】30%					
		円		セミナー参加者9社、出展企業3社、来場者150名相当(259,050円)						

別紙：積算根拠となる支援対象企業数と支援対象企業の変化について

事業の目標①	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	【人材育成型】 ホームページ、SNS、メルマガ及びチラシシラックへの配架、機関紙でのPR、関係機関への協力依頼をし参加者を募集する。
	支援対象企業の変化	参加企業のプレゼン力強化に結びつくとともに、バイオ・ライフサイエンス産業に参入しようとしている企業の関心が高まることにより、新たな連携に向けての動きが生まれる。	
	指標	今後の連携に対する意識やライフサイエンス産業への興味が深まった事業者数	数値目標 10
その他目標値	目標値の内容⇒		
事業の目標②	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	【販路開拓型】 彩都ライフサイエンスパークの立地企業への重点PRに加え、ホームページ、SNS、メルマガ及びチラシシラックへの配架、機関紙でのPR、関係機関への協力依頼をし参加企業を募集する。
	支援対象企業の変化	イベント参加企業が自社のPRをでき、新たな連携の動きを感じ取れたり、認知度向上の目的をはたすこと。	
	指標	事業実施後、自社の認知度向上を果たしたと回答した企業数	数値目標 10
その他目標値	目標値の内容⇒	イベント実施時の来場者数	
	500		

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		バイオ産業推進事業		事業番号	4	新規/継続	継続
想定する実施期間		2015	年度～	年度まで	8	年目	←複数年段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業概要	バイオ・ライフサイエンス関連企業等が情報発信することにより連携や交流を促進する。					
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	バイオ・ライフサイエンス関連企業は、特殊な業種のため一般企業や府民への認知度が低い傾向がある。バイオ・ライフサイエンス関連企業等が情報発信することにより、関連企業間やその他の中小企業、府民への認知度が向上し、連携やビジネスマッチングの促進につながる。					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	彩都ライフサイエンスパーク等のライフサイエンス拠点に立地する府内のバイオベンチャーや中小企業					
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	彩都ライフサイエンスパークに立地するバイオベンチャー企業や周辺のものづくり企業等へのヒアリングの中で、連携や交流のニーズがある。					
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>■2022年2月1日 彩都バイオサイエンスセミナー開催(予定) 講師：サラヤ株式会社 代表取締役 更家 悠介氏 テーマ：バイオサイエンスの時代を語ろう サラヤの衛生・環境・健康へのチャレンジ! ※過去のバイオサイエンスセミナー参加者数(参考) 2020年度：25名、2019年度：56名、2018年度：44名</p> <p>■2020年10月14日～16日 BioJapan2020に出展 ※2021年度PR事業は新型コロナのため見送り 出展事業者数：12件 ブース来場者・名刺交換事業者数等：248名</p>					
	反省点	新型コロナウイルス感染症の影響でセミナーの集客に苦戦した。					
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	○ 人材育成型	事業の実施にあたっては、実行委員会(茨木商工会議所、摂津市商工会、大阪府、茨木市、バイオ・サイト・キャピタル㈱)を開催し、準備から当日の実行まで連携を図っていく。 彩都ヒルズクラブが過去に190回以上実施してきた「彩都バイオサイエンスセミナー」の2022年度に実施する1回分を主体的に実施する。					
	人材交流型	<p>■セミナーの開催 【内容】 地域中小企業等を対象としたバイオ・ライフサイエンス分野への参入を促進する内容。講師はライフサイエンスに関連する企業経営者やコンサルタント等を予定。</p>					
	○ 販路開拓型	<p>■連携あるいは交流促進のためのイベント開催 【内容】 大企業や大学・研究機関、地域のバイオやライフサイエンス分野のベンチャー、従来型中小製造業やIT・サービス業等の連携を促進させるようなイベント、あるいはライフサイエンス拠点進出企業間の連携・地域住民への理解を目的としたイベントを企画して実施する。具体的な実施内容は、実行委員会で決定する。</p>					
	ハズお型						
	独自提案型	※上記の事業は、新型コロナの情勢によりオンライン開催に変更する場合あり。					
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	○ (a)府施策連携		○ (b)広域連携		○ (c)市町村連携		○ (d)相談事業相乗効果
	商-8	ライフサイエンス拠点進出企業と府内中小企業、地域住民との連携・交流促進				販路開拓	
		(a)府施策連携：ライフサイエンス産業課の担当者を交えて事業の進め方や事業当日の運営まで含めて連携。 (b)広域連携：支援企業の掘り起こしや集客を共同実施。 (d)相談事業相乗効果：相談案件が出た場合は、経営相談事業で個別対応する。					
主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	彩都ライフサイエンスパークの立地企業への重点PRに加え、ホームページ、SNS、メルマガ及びチラシラックへの配架、機関紙でのPR、関係機関への協力依頼をし参加企業を募集する。				
	支援対象企業の変化 (代表的な指標)	イベント参加企業が自社のPRをでき、新たな連携の動きを感じ取れたり、認知度向上の目的をはたすこと。					
	指標	事業実施後、自社の認知度向上を果たしたと回答した企業数			数値目標	6	
その他目標値	目標値の内容⇒						

算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入)	サービ単価		支援企業数		係数		標準事業費			
	20,200	円 ×	30	社 ×	1.00	=	606,000	円		
	⇒ 50,500	円 ×	6	社 ×	1.00	=	303,000	円		
		円 ×		社 ×		=		円		
		円 ×		社 ×		=		円		
		円 ×		社 ×		=		円		
	合計		36	社	(小計)		909,000	円		
※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%)								円		
								計	909,000	円
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)										
算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等						
	②受益者負担		円	負担金の積算						
	○ (a)府施策連携	○ (b)広域連携		(c)市町村連携	○ (d)相談事業相乗効果					
	標準事業費		補助率		(①市町村等+②受益者負担)					
	909,000	円	×	1.00	=	909,000	円	()		
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒリングで説明する代 表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割 (配分の考え方)					
	○	茨木商工会議所	681,300 円		実施に係る経費は150,000円を茨木商工会議所が負担し、以下の割合で配分 【茨木商工会議所】70% セミナー参加者21社、出展企業4社 【摂津市商工会】30% セミナー参加者9社、出展企業2社					
		摂津市商工会	227,700 円							
			円							
			円							
		円								

別紙：積算根拠となる支援対象企業数と支援対象企業の変化について

事業の目標①	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	【人材育成型】 ホームページ、SNS、メルマガ及びチラシラックへの配架、機関紙でのPR、関係機関への協力依頼をし参加者を募集する。
	支援対象企業の変化	パイオ・ライフサイエンス産業に参入しようとしている企業の関心が高まることにより、新たな連携に向けての動きが生まれる。	
	指標	今後の連携に対する意識やライフサイエンス産業への興味が深まった事業者数	数値目標 10
その他目標値	目標値の内容⇒		
事業の目標②	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	【販路開拓型】 彩都ライフサイエンスパークの立地企業への重点PRに加え、ホームページ、SNS、メルマガ及びチラシラックへの配架、機関紙でのPR、関係機関への協力依頼をし参加企業を募集する。
	支援対象企業の変化	イベント参加企業が自社のPRをでき、新たな連携の動きを感じ取れたり、認知度向上の目的をはたすこと。	
	指標	事業実施後、自社の認知度向上を果たしたと回答した企業数	数値目標 6
その他目標値	目標値の内容⇒		

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。